

2019 年度

アメリカコース留学報告書

実習先：セントラル・ミズーリ州立大学

実習期間：8月22日 ～ 12月12日

新潟国際情報大学
国際学部国際文化学科
学籍番号 21018112
水内 能夫

目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
2-1	大学について	3
2-2	大学で行われている教育について	3
2-3	それぞれの教科の試験内容	3~4
3	留学・授業のスケジュール	4~5
4	留学目的	6
5	当初目標・目標への達成度	6
6	反省・課題	6
	謝辞	6

付録

	研修日誌	7
--	------	---

1 留学先及び実習期間

留学先： セントラル・ミズーリ大学 English language institute

留学期間：令和元年8月22日～12月12日

2 留学先概要

(1) 大学について

セントラル・ミズーリ大学はアメリカのミズーリ州、ウォレンズバーグという人口約二万人の都市に位置する州立大学である。大学には5つの学部があり、約1,300人の学生が在学している。中にはパイロットを目指す学生もいる。国外からも多くの留学生が学びに来ている学校である。

また、キャンパス内には広いジムや映画館、ポーリング場、図書館などの施設がある。

(2) 大学で行われている教育について

セントラル・ミズーリ大学では日本以外の様々な国からも留学生を受け入れており、留学生はIEPプログラムに参加する。授業が始まる前に留学生はテストを行い、自分に合ったレベルのクラスを受けることになる。授業は Communication Skills(留学生同士のグループワークが多い授業)、Reading (英文を読み、問題をみんなで解いていく授業)、Writing (エッセイなど書く力をつける授業)、Grammar Skills (文法を学ぶ授業)、TOEIC (TOEICの対策をする授業)、American History/ Culture, U.S Japan relationship(アメリカの歴史、文化、日米関係を考える授業)、pronunciation(発音をただず授業)などある。もちろん日本の大学より英語勉強のレベルが高いため、勉強にも普段より多くの時間を費やす必要があった。

(3) 中間・期末試験や成績のつけ方の内容

Communication Skills

試験はプレゼンによって行われる。ほかの国の留学生と協力するグループでのプレゼンと、一人で行うプレゼンの二つ種類がある。アウトラインをまとめたプリントなどの提出も怠ってはいけなかった。成績は日々の発言や出席、プレゼンや毎日の課題が主であった。

Reading Skills

試験は主に長文読解や単語問題などの紙テストによって行われた。

成績は授業中の発言、出席また課題、試験によって決まる。

Writing

試験は授業中にするタイムライティングとエッセイの提出であった。

タイムライティングは制限時間以内に出されたお題についてエッセイを書くもので、エッセイの提出は期限以内に出されたお題、あるいは自分の好きなことなどについてエッセイを長文書くことであった。成績は出席またエッセイの質などで決まる。

Grammar Skills

試験は文法問題がほとんどであるため、事前に授業でよく理解しておく必要があった。

成績は授業中の発言、出席、試験で決まる。

その他の授業

その他の授業では授業中の課題や活動がそのまま点数になった。成績は主に授業の取り組み、出席などで決まる。

3 留学・授業のスケジュール

月	日	アクティビティ
8	2 1	前泊 (成田)
	2 2	出国 到着 入寮 説明会
	2 3	説明会 注射 クラス分けテスト
	2 4	町探検 散策 (ダウンタウン、ライオンズレイク)
	2 6	授業開始
	2 9	カンザスシティ訪問
9	5	アメフト開幕戦観戦
	1 3	メジャーリーグ観戦 (カンザスシティ) 美術館訪問
1 0	1	ハロウィンパーティー (クラスで仮面)
	1 7	BBQ パンプキンアート
	1 8	カンザスシティでショッピング

	3 1	ハロウィンパーティー (仮装)
1 1	2 1	メキシコ料理 映画観賞会
	2 3～	サンクスギビングウィーク
1 2	～2	サンクスギビングウィーク
	6	カンザスシティ 美術館 ショッピング
	1 1	Award ceremony (卒業式)
	12	出国
	1 3	帰国

時間	月	火	水	木	金
9 : 0 0 ~ 1 0 : 5 0	Reading Skills	Communication skills	Reading Skills	Communication skills	TOEIC
1 1 : 0 0 ～ 1 2 : 5 0	Writing Skills	Grammar Skills	Writing Skills	Grammar Skills	American History or US- Japan relationship
1 4 ; 0 0 ～ 1 4 : 5 0	pronunciation	Communication skills Lab	Pronunciation	American Culture	
1 5 : 0 0 ～ 1 5 : 5 0	Reading Skills Lab	American culture	Writing Skills Lab		

3 留学目的

留学の目的は主に全体的な英語能力の向上と TOEIC スコアの向上、初めて暮らす地でたくさんのカルチャーショックを受け、様々な国の人と交流することでの異文化理解である。

4 目的の達成度

留学の目的達成度について、全体的な英語能力の向上においては先生や留学生の友達が何を言っているかは理解できるようになった。しかし、話すときにうまく言葉が出ない時があったため、今後も外国の方と話す機会を増やす必要がある。TOEICでは以前より200点以上スコアが伸びた。その反面、ほとんどがリスニングであるため、リーディングに力を入れて臨む必要がある。異文化理解についてはアメリカの文化はもちろん、他の留学生の国のことを話し合ったり言葉を教えてもらったりなど様々な国の文化を共有できた。

反省・課題

この留学を通して残った課題と反省は、自身の英語に自信が持てなかったことである。また、わからない問題や先生の言っていることが分からない時に日本人に聞いて問題を解決していたことがあったため、英語を活用できる場ではなるべく英語を使うべきであった。

私生活の面ではカギを期間内に返さねばならないことを忘れていたこともあったので、私生活でも気を抜かず責任感をもって行動すべきであった。今後の大学生活、そして人生においての課題であることが分かった。

謝辞

この度は多くの新潟国際情報大学先生方や学務課の方々、セントラル・ミズーリ大学の先生方のサポートや費用や応援をしてくれた家族のおかげでこのようなめったにできない充実した留学生生活を不自由なく安全に過ごすことができました。本来では会うことのない方々との出会いや貴重な経験をする機会を与えてくださったことに心から感謝しております。

付録

サンクスギビングウィークに訪れたニューヨークの写真です。



こちらは留学中のハロウィンイベントで撮った写真です

